

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成18年1月26日(2006.1.26)

【公開番号】特開2001-189689(P2001-189689A)

【公開日】平成13年7月10日(2001.7.10)

【出願番号】特願平11-373073

【国際特許分類】

H 04 B 7/26 (2006.01)

【F I】

|        |      |   |
|--------|------|---|
| H 04 B | 7/26 | K |
| H 04 B | 7/26 | X |
| H 04 B | 7/26 | M |

【手続補正書】

【提出日】平成17年12月7日(2005.12.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】データ送受信のための通信チャネルと、新たな無線リンク確立に必要な制御手順を行うための制御チャネルとを、排他的に無線リソースに割り当てて使用する通信装置において、

前記通信チャネルのトラフィックを監視するトラフィック監視手段と、

前記トラフィック監視手段によって検出されたトラフィックに基づいて、前記制御手順の実行タイミングまたは実行間隔を動的に制御する制御手段とを具備することを特徴とする通信装置。

【請求項2】前記制御手順では、通信圏内にいる端末を探し接続に必要な情報を収集するための局発見メッセージの送信が行われ、

前記制御手段は、前記トラフィック監視手段によって検出されたトラフィックに基づいて前記局発見メッセージの送信タイミングまたは送信間隔を動的に制御することを特徴とする請求項1記載の通信装置。

【請求項3】前記制御手順では、局探索のために相手端末から送信される局発見メッセージを検知してそれに応答するための局発見待ち受け手順が行われ、

前記制御手段は、前記トラフィック監視手段によって検出されたトラフィックに基づいて、前記局発見待ち受け手順の実行間隔を動的に制御することを特徴とする請求項1記載の通信装置。

【請求項4】前記制御手順では、相手端末から送信されるコネクション確立要求メッセージを検知するためのコネクション確立要求待ち受け手順が行われ、

前記制御手段は、前記トラフィック監視手段によって検出されたトラフィックに基づいて、前記コネクション確立要求待ち受け手順の実行間隔を動的に制御することを特徴とする請求項1記載の通信装置。

【請求項5】前記制御手順では、通信圏内にいる端末を探し接続に必要な情報を収集するための局発見を行う局発見モードと、局発見の待ち受けモードと、コネクション確立要求の待ち受けモードのいずれかのモードが実行され、

前記制御手段は、前記トラフィック監視手段によって検出されたトラフィックに基づいて、前記局発見モード、前記局発見の待ち受けモード、および前記コネクション確立要求の待ち受けモードの少なくとも一つのモードの実行タイミングまたは実行間隔を動的に制

御することを特徴とする請求項 1 記載の通信装置。

【請求項 6】 データ送受信のための通信チャネルと、新たな無線リンク確立に必要な制御手順を行うための制御チャネルとを、排他的に無線リソースに割り当てて使用する通信装置において、

前記制御手順の実行タイミングまたは実行間隔に関する設定をユーザ操作に応じて実行するためのユーザインターフェイス手段と、

前記ユーザインターフェイス手段による設定結果に基づいて、前記制御手順の実行タイミングまたは実行間隔を制御する制御手段とを具備することを特徴とする通信装置。

【請求項 7】 バッテリ駆動可能に構成され、同時に複数の相手端末と接続可能な通信装置において、

相手端末を探索するための局発見メッセージの送信処理、または前記局発見メッセージを検知して応答するための局発見待ち受け処理を定期的に実行する接続制御手段と、

前記バッテリの残存容量を検出するバッテリ残量検出手段と、

前記バッテリ残量検出手段の検出結果に基づき、局発見メッセージの送信処理または前記局発見待ち受け処理についての実行タイミングもしくは実行間隔を動的に制御する制御手段とを具備することを特徴とする通信装置。

【請求項 8】 データ送受信のための通信チャネルと、新たな無線リンク確立に必要な制御手順を行うための制御チャネルとを、排他のに無線リソースに割り当てて使用する通信装置の制御方法であって、

前記通信チャネルのトラフィックを監視するトラフィック監視ステップと、

前記トラフィック監視ステップによって検出されたトラフィックに基づいて、前記制御手順の実行タイミングまたは実行間隔を動的に制御する制御ステップとを具備することを特徴とする制御方法。

【請求項 9】 データ送受信のための通信チャネルと、新たな無線リンク確立に必要な制御手順を行うための制御チャネルとを、排他のに無線リソースに割り当てて使用する通信装置の制御方法であって、

前記制御手順の実行タイミングまたは実行間隔に関する設定をユーザ操作に応じて実行するための設定ステップと、

前記設定ステップによる設定結果に基づいて、前記制御手順の実行タイミングまたは実行間隔を制御する制御ステップとを具備することを特徴とする制御方法。

【請求項 10】 バッテリ駆動可能に構成され、同時に複数の相手端末と接続可能な通信装置の制御方法であって、

前記バッテリの残存容量を検出するバッテリ残量検出ステップと、

前記バッテリ残量検出手段による検出結果に基づき、相手端末を探索するための局発見メッセージの送信処理または前記局発見メッセージを検知して応答するための局発見待ち受け処理についての実行タイミングもしくは実行間隔を動的に制御する制御ステップとを具備することを特徴とする制御方法。